

平成18年度消防防災機器の開発等及び 消防防災科学論文に関する消防庁長官表彰

消防大学校消防研究センター

平成18年度消防防災機器の開発等及び消防防災科学論文に関する消防庁長官表彰式が、去る3月8日(木)13時30分から、総務省講堂において挙行されました。

本表彰制度は、消防防災機器の優れた開発・改良を行った方及び消防防災科学に関する優れた論文を著した方を消防庁長官が表彰することにより、消防科学・技術の高度化と消防防災活動の活性化に資することを目的として、平成9年度から実施しているものです。

平成18年度も、全国の消防機関、消防機器メーカー等から総計64編（機器の開発・改良55編、科学論文9編）の応募があり、選考委員会（委員長 上原陽一 横浜国立大学名誉教授）による厳正な審査の結果、10の受賞作品（優秀賞：8作品、奨励賞：

2作品）が決定されました。消防研究センターホームページ（<http://www.fri.go.jp>）に受賞作品が掲載されます。

なお、平成19年度の作品募集は、平成19年6月に開始する予定です。



平成18年度消防防災機器の開発等及び消防防災科学論文に関する消防庁長官表彰作品

消防吏員・消防団員等による消防防災機器の開発の部（4編）		
優 秀 賞 (8 編)	頰椎固定器具の改良について	金子亮一（川越地区消防局）
	照明付瞳孔ゲージの開発	小松浩二、吉田忠司、北野佳則（柏原羽曳野藤井寺消防組合消防本部）
	ホースラインや歩道の段差等を安全に乗り越え可能なホースカーの改良	岡野恭哲、柴田利尚、北岡二郎、佐々木靖浩（京都市消防局）
	聴覚障害者用住宅火災警報器の付属装置の開発について	齊藤敏広、宇佐美明香（京都市消防局）
消防吏員・消防団員等による消防防災科学論文の部（2編）		
	ガスこんろの過熱防止装置と天ぷらなべ火災に関する考察	谷村良明、西村浩二、伊藤麻美子（京都市消防局）
	防火かるたを活用した子どもワークショップの手法について	堂前義紹、福田真由子、池田ひろみ、牧 文明（京都市消防局）
一般による消防防災機器の開発等の部（2編）		
	水道水を利用した住宅用スプリンクラー設備の開発	清水信博（株式会社 大昭商事）
	屋外用炎検出器の開発	相澤真人（ホーチキ株式会社）
奨励賞（2編）		
	呼吸管理補助器具の考察について	村本満昭（備北地区消防広域行政組合）
	住宅用火災警報器は高齢者世帯にどこまで有効か	南田実貴夫（京都市消防局）